



さかた よしお  
坂田芳郎 議員

SAKATA Yoshio

## Q. 町政一期4年を検証する

## A. 行政も住民も一緒になって

指摘を受け、お尋ねする。

令和2年10月、鈴木くにお現町長は4年間の副町長を歴任した後、同年11月1日執行された町長選挙に向け、次なる公約を掲げ出馬・当選した。新たな行政最高責任者の誕生である。

スローガンとして、「住みたいまち、住み続けたいまち」を指してと称して「一人ひとりが大切にされる新しい豊山を作る6つの約束」なる施策を打ち出した。

①町長の報酬を10%削減します。②18歳までの医療費を無料化します。③豊山中学校を移転・新築します。④特別養護老人ホーム・障がい者グループホームを設置します。

⑤広域防災拠点を設置し、平時には、スポーツ施設、ふれあいの場として新たな賑わいを創出します。河川整備、排水機場の増強など、総合的な治水対策を実施します。

⑥名古屋市内宮バスの乗り入れをすすめます。以上であった。

ここで尋ねる。

任期満了を間近に迎え、改めて各々の進捗状況を伺う。

総務部長

報酬につきましては、令和3年4月から関係条例を制定し、給料の10%を減額している。18歳までの医療費につきましては、令和3年10月から無料化している。中学校の移転・新築につきましては、令和6年3月に策定した「豊山中学校改築基本計画」において、建築候補地や事業手法などを決定した。

特別養護老人ホーム・障がい者グループホームの設置につきましては、本町を含む圏域内に令和3年に障害者グループホーム「こたち」、令和4年に特別養護老人ホーム「かもだの里」が開所している。町内においてもグループホームをはじめ生活介護やデイサービスなど複数開所している。広域防災拠点等の設置につきましては、現在、愛知県が整備しております基幹的広域防

災拠点の整備にあわせ、避難所機能や賑わい施設を有する「臨空第2公園」についての都市計画決定を行い、整備を進めている。

名古屋市内宮バスの乗り入れにつきましては、令和3年12月に名古屋市内へ要請を行い、その後も関係機関に継続的に要請をしている。

町の皆様にこれだけは解

って戴きたい・ご理解を戴きたかった等、成果・反省も含めて自由に述べられたい。

町長

これまで防災対策の充実に向け、雨の対策を中心に、河川の改修や排水設備の増強等に取り組むとともに、「共助」の強化といった観点から、小学校区自主防災組織の強化にも努めてきた。災害時の「共助」という活動には、地域の町内会の働き、機能が不可欠であり、強化が必要と考える。しかしながら、現実には逆の方向に進みつつあり、コロナ禍を通じて町内会の状況は一

層弱体化が進んでいる。他の人、他者があつてこそ、自分という存在もある。そうした認識をもって、行政も住民の皆さんも一緒になって、町の地域づくり、まちづくりを進めていけたらと考える。



行政も住民も一緒に

本人の申し出により、編集せず原文のまま掲載しています。